

独立行政法人国立文化財機構の令和3年度業務実績に関する評価結果の反映状況について

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた令和4年度の改善の状況
I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信	展覧事業における来館者アンケート満足度調査の手法や分析方法など、館ごとで実施している事業のノウハウの共有を進め、より有効に博物館運営に反映していただきたい。	国立博物館4館で平常展・特別展それぞれにおいて、アンケート調査の回収方法等を共有し、多様な属性の来館者からの意見を集約できるよう改善に向けた検討を行った。
I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 2. 文化財及び海外の文化遺産の保護に貢献する調査研究、協力事業等の実施	調査研究成果や、文化財防災センター等の新しい取組について、関係者だけでなく一般の人々に広く伝えられるよう、文化財情報基盤の整備や展示事業、情報発信にさらに工夫を行っていただきたい。	各研究所・センターにおいて調査研究成果について積極的に報道発表を行い、各種メディアで報道された。また、文化財防災センターでは、文化財防災を促進する普及啓発活動として、「ぼうさいこくたい2022」に出展し、文化財分野になじみのなかった参加者へも幅広くアピールを行った。
IV. その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 内部統制	既存の制度の適切な実施及び各施設での先進的な取組の共有などで、リスクを発見しやすい環境、職員の働きやすい環境の整備をさらに進めていただきたい。	本部・各施設の情報共有・連絡調整機能を強化するため、事務担当課長が参加する連絡会を毎月1回開催することとし、各施設の共通課題等に関して情報を共有し、問題点の洗い出しや対応等について検討を行うなど法人内で連絡の取りやすい環境を整備した。